

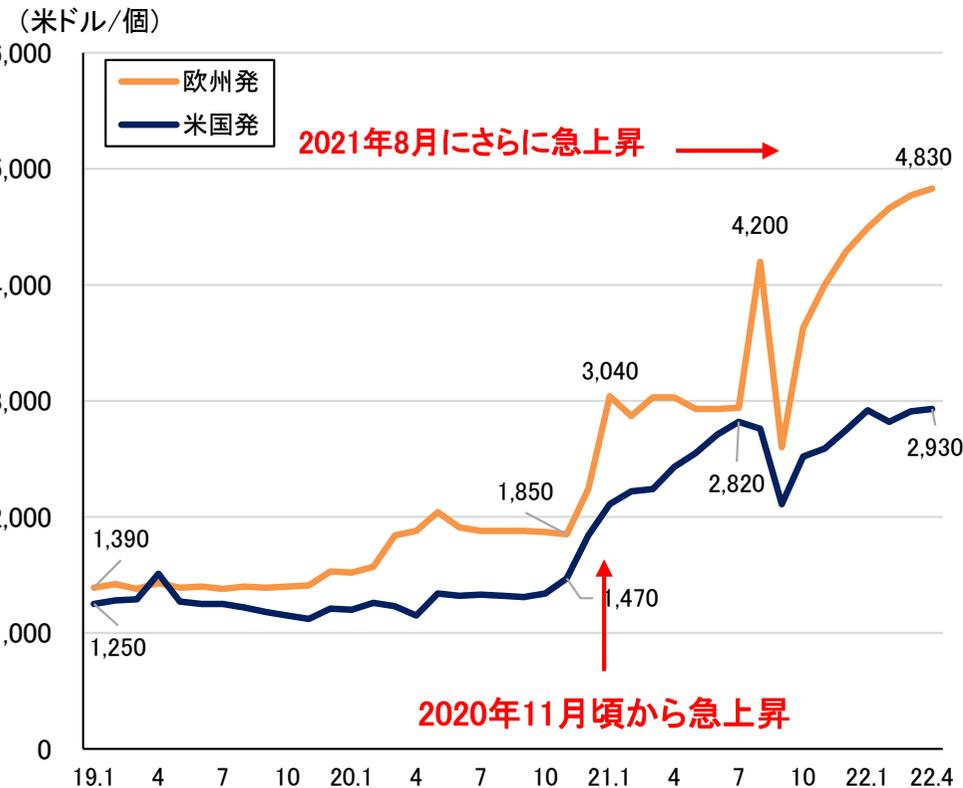
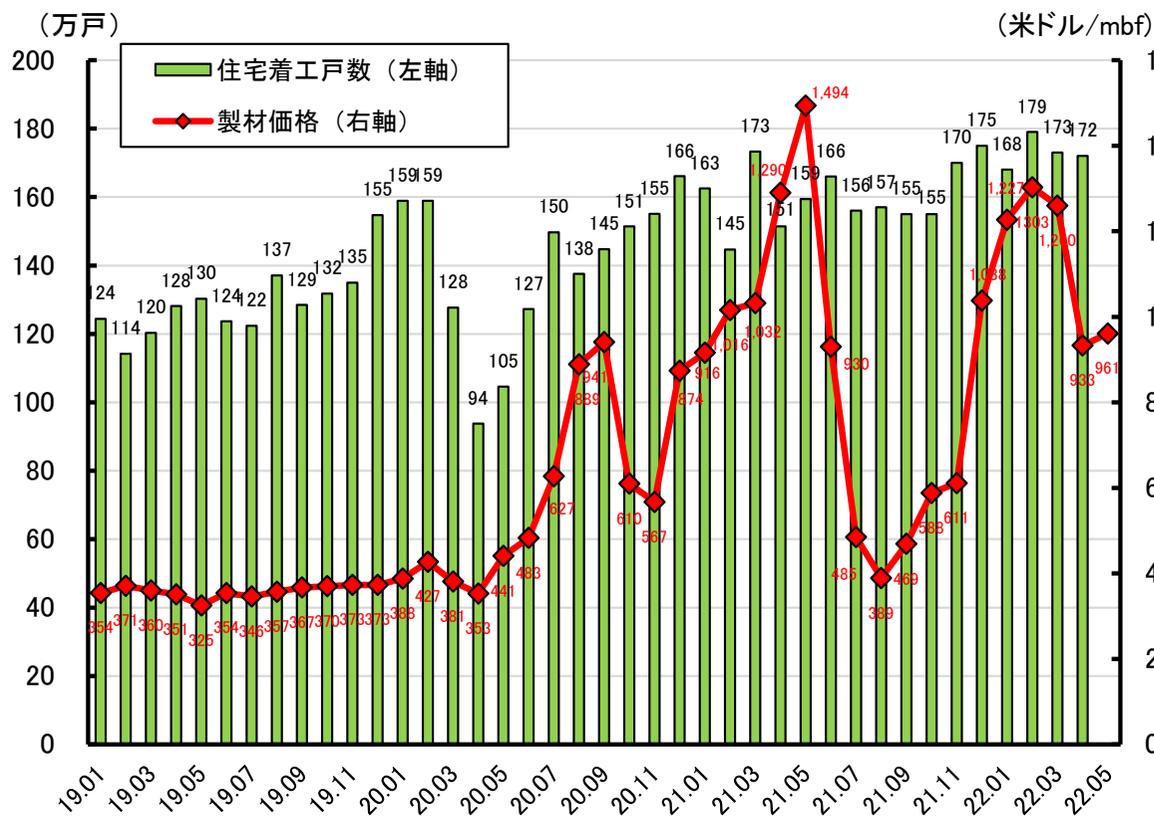
# 木材輸入の状況について

(2022年4月実績)

令和4年5月  
林野庁 木材貿易対策室

# 1. 米国における木材価格の高騰

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から急増。2021年3月に173万戸(年率換算)を記録。2022年4月は、前月比▲1%減の172万戸。
- 北米の木材価格も、2020年夏から急上昇し、2021年5月には1,494ドル/mbfを記録。以後急落したが、同年9月以降再上昇した。その後、2022年4月には933ドル/mbfまで下落したものの、5月には961ドル/mbf(前月比+3%)と増加。
- 2021年秋以降、中国から北米へのコンテナの急増による他国でのコンテナ不足と、コロナ禍による中国での港湾作業員不足が深刻化。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2021年9月に一時大きく下落したものの、同年10月以降は欧州発、米国発ともに再度上昇傾向。

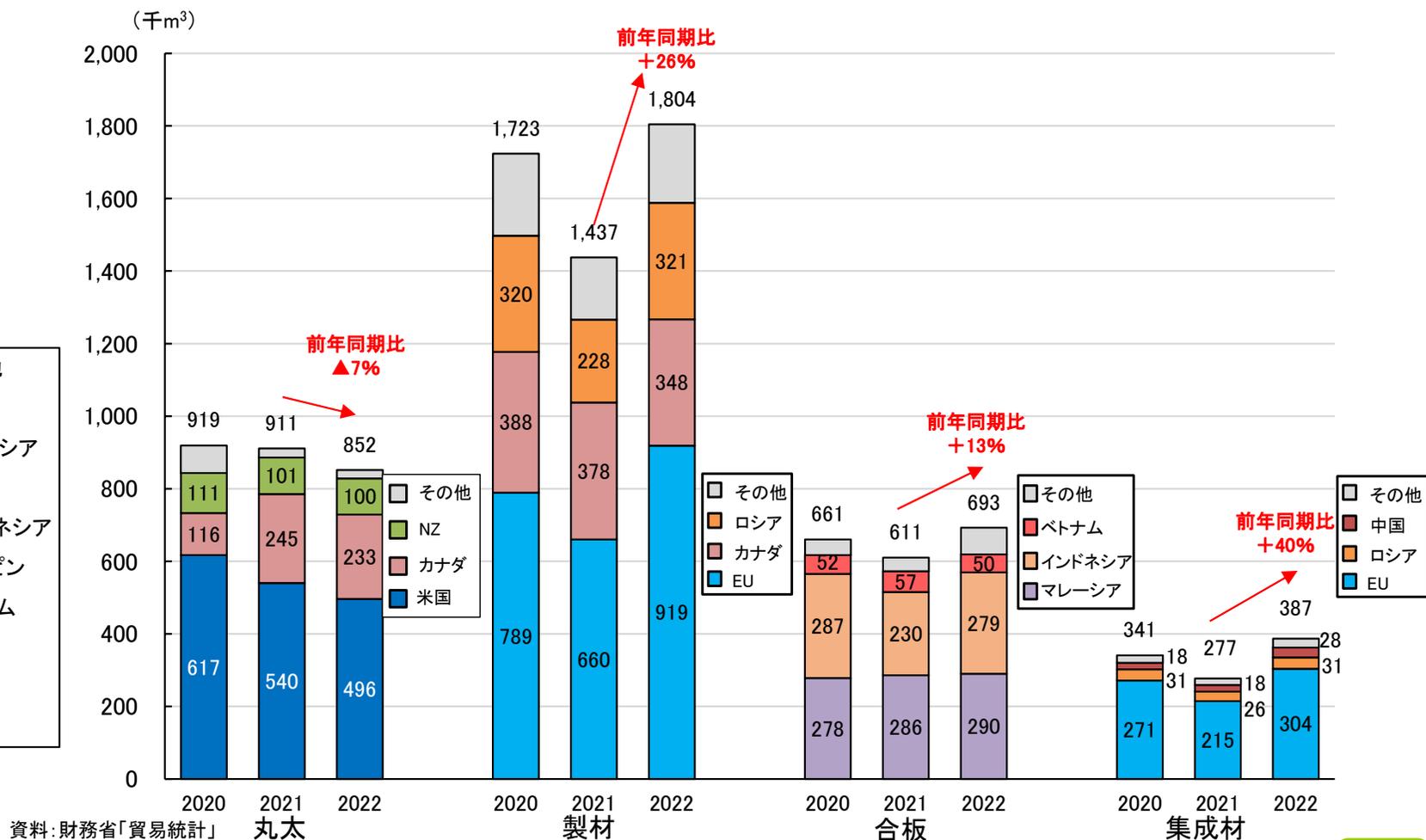
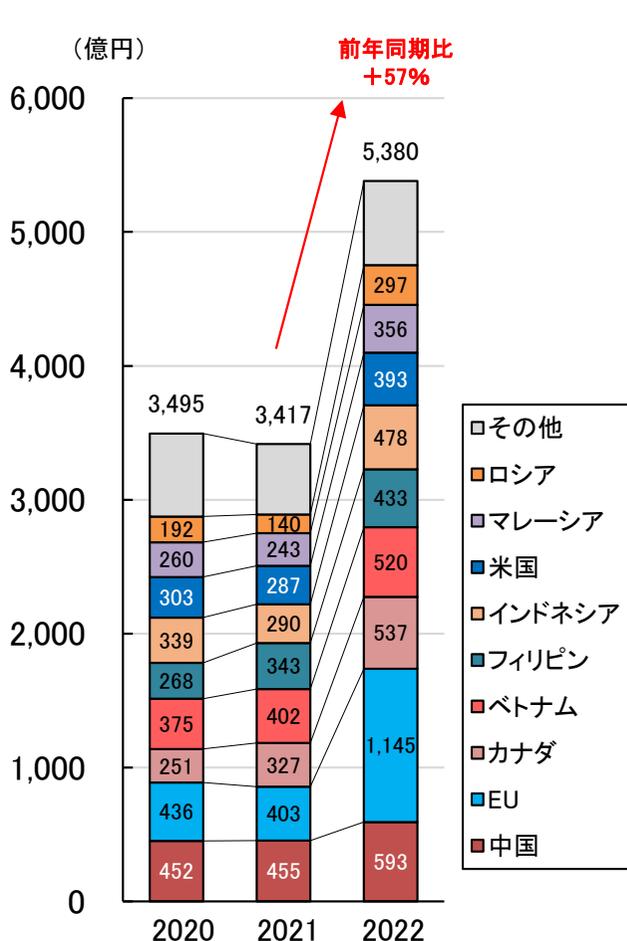


資料: (住宅着工戸数) 米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)  
(製材価格) Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」(月末価格、2022年5月は月央価格)

(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。  
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」  
資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

## 2. 2022年4月までの木材輸入実績(累計)

- 2022年1～4月の木材輸入額累計は、前年同期比+57%増の5,380億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が同▲7%減となった一方、製材が同+26%、合板が同+13%、集成材が同+40%と、軒並み増加。
- なお、2020年同期と比較すると、2022年1～4月の木材輸入額累計は同+54%増加。品目別輸入量では、丸太が同▲7%、製材が同+5%、合板が同+5%、集成材が同+13%増加。



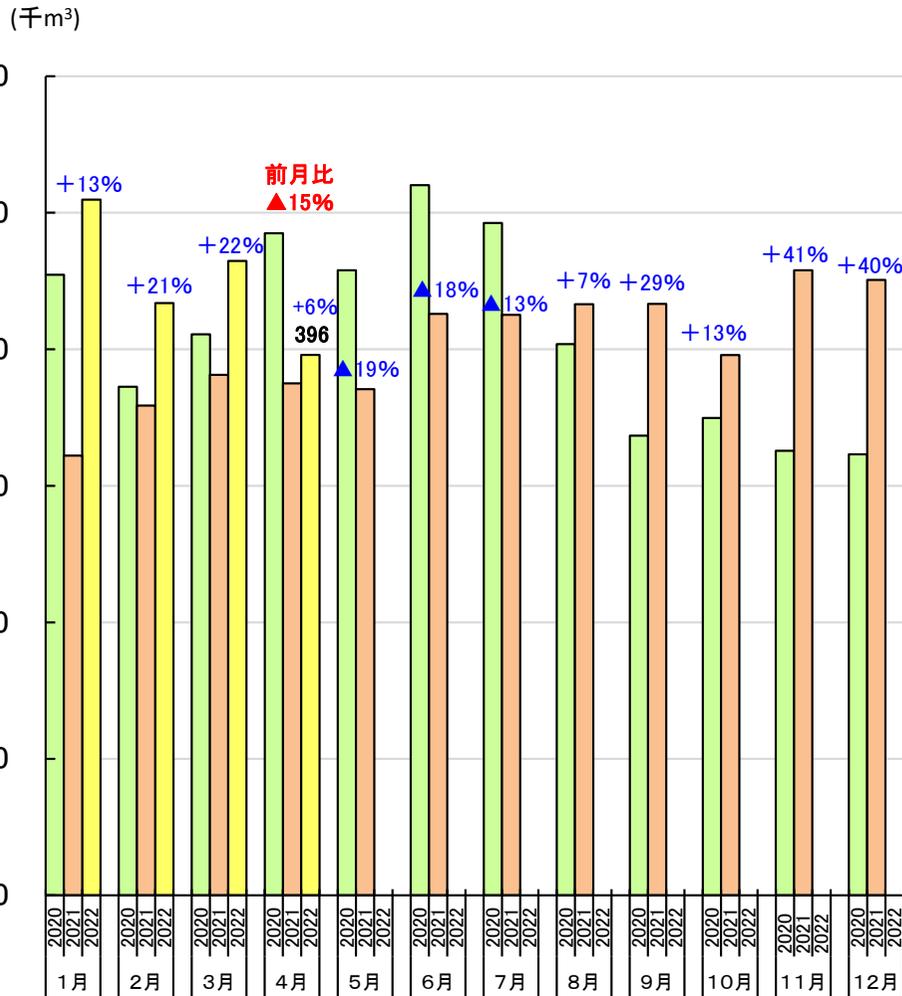
(注)2022年2月及び4月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

木材輸入額の推移  
(2020～2022年における1～4月累計)

品目別木材輸入量の推移  
(2020～2022年における1～4月累計)

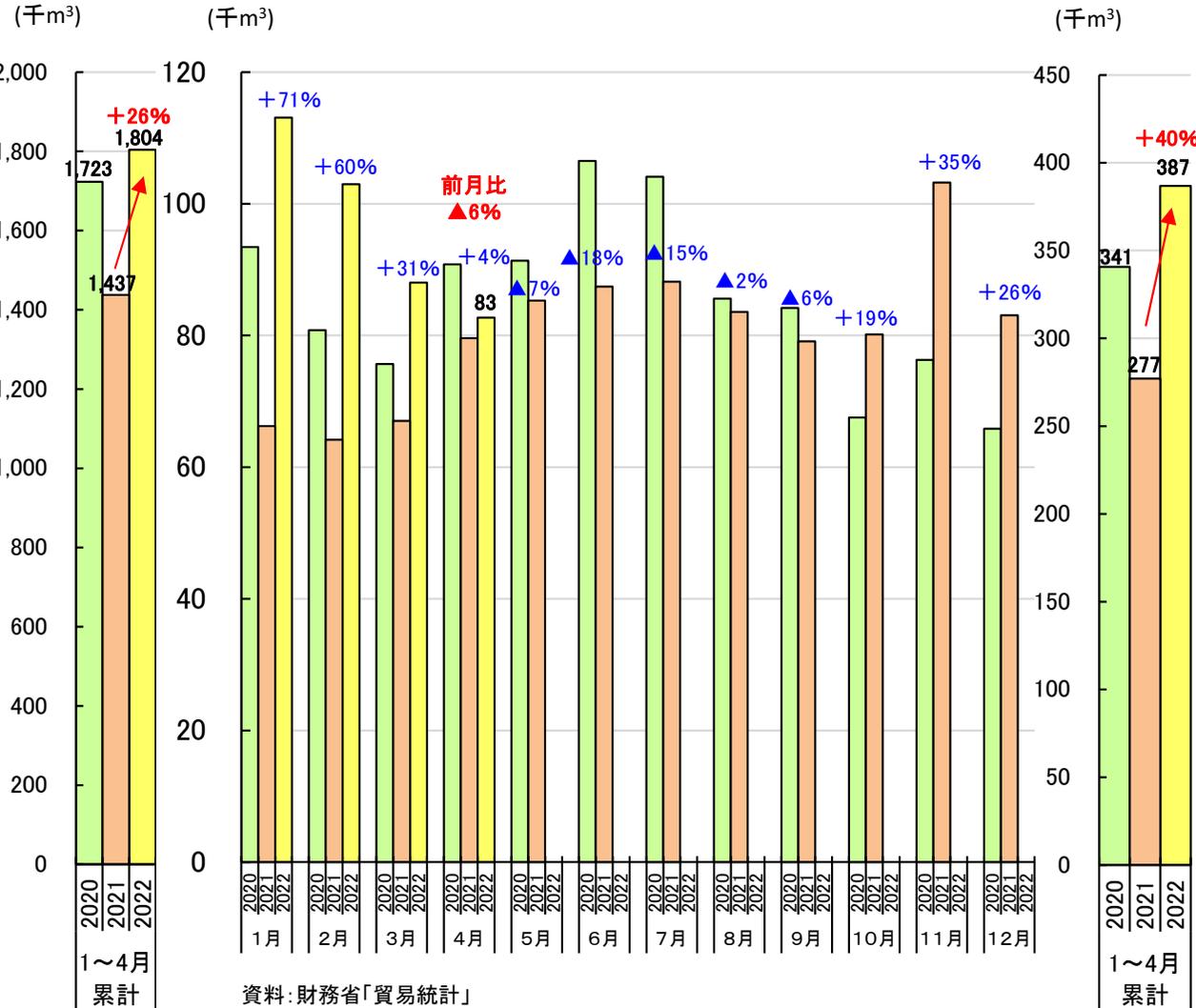
### 3. 製材・集成材の月別輸入量

- 2022年4月の製材輸入量は、前月比▲15%減の40万m<sup>3</sup>(前年同月比+6%増、2020年同月比▲18%減)。1～4月の累計は、前年同期比+26%増(2020年同期比+5%増)の180万m<sup>3</sup>。
- 同月の集成材輸入量は、前月比▲6%減の8万m<sup>3</sup>(前年同月比+4%増、2020年同月比▲9%減)。1～4月の累計は、前年同期比+40%増(2020年同期比+14%増)の39万m<sup>3</sup>。



資料:財務省「貿易統計」

製材の輸入量

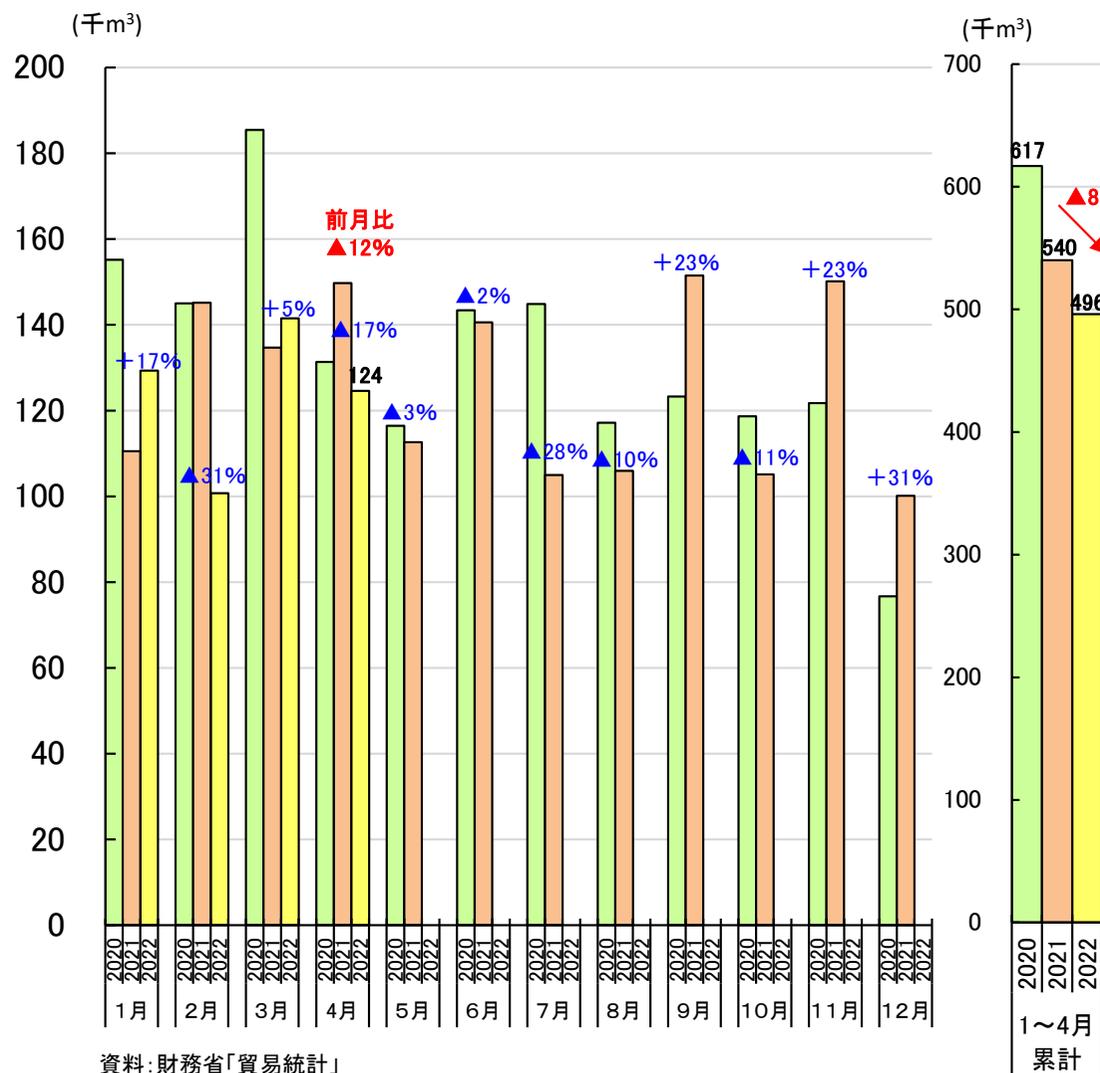


資料:財務省「貿易統計」

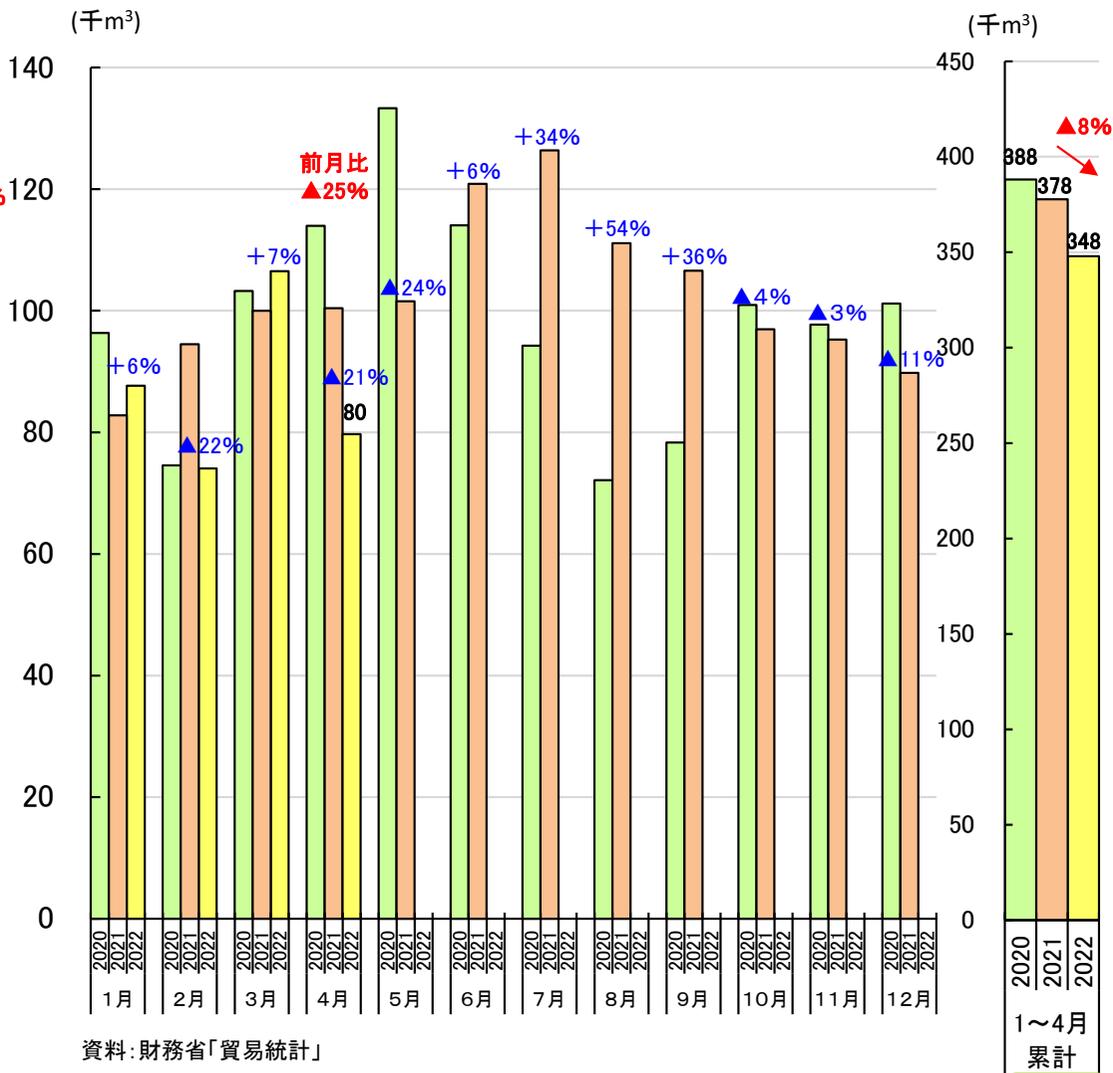
集成材の輸入量

# 4. 北米からの月別輸入量

- 同月の米国からの丸太輸入量は、前月比▲12%減の12万m<sup>3</sup>(前年同月比▲17%減、2020年同月比▲5%減)。1～4月の累計は、前年同期比▲8%減(2020年同期比▲20%減)の50万m<sup>3</sup>。
- 2022年4月のカナダからの製材輸入量は、前月比▲25%減の8万m<sup>3</sup>(前年同月比▲21%減、2020年同月比▲30%減)。1～4月の累計は、前年同期比▲8%減(2020年同期比▲10%減)の35万m<sup>3</sup>。



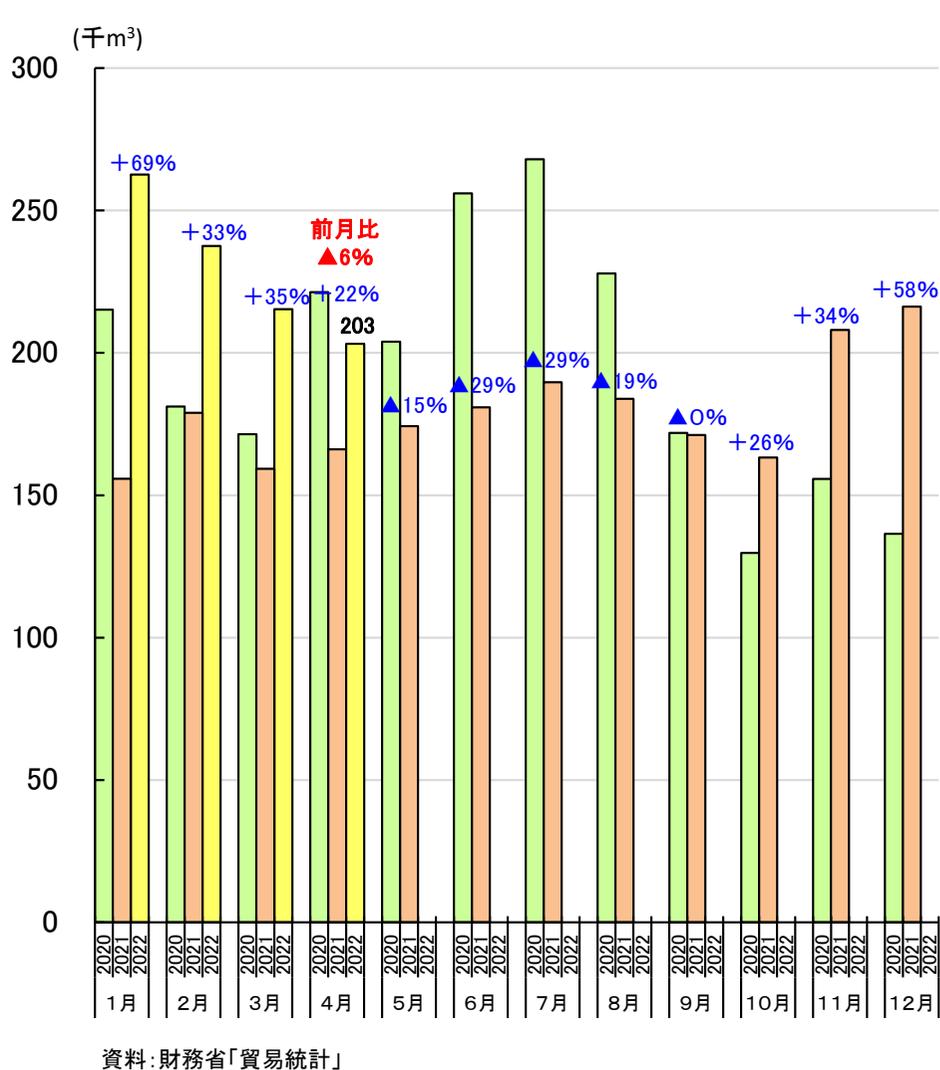
米国からの丸太輸入量



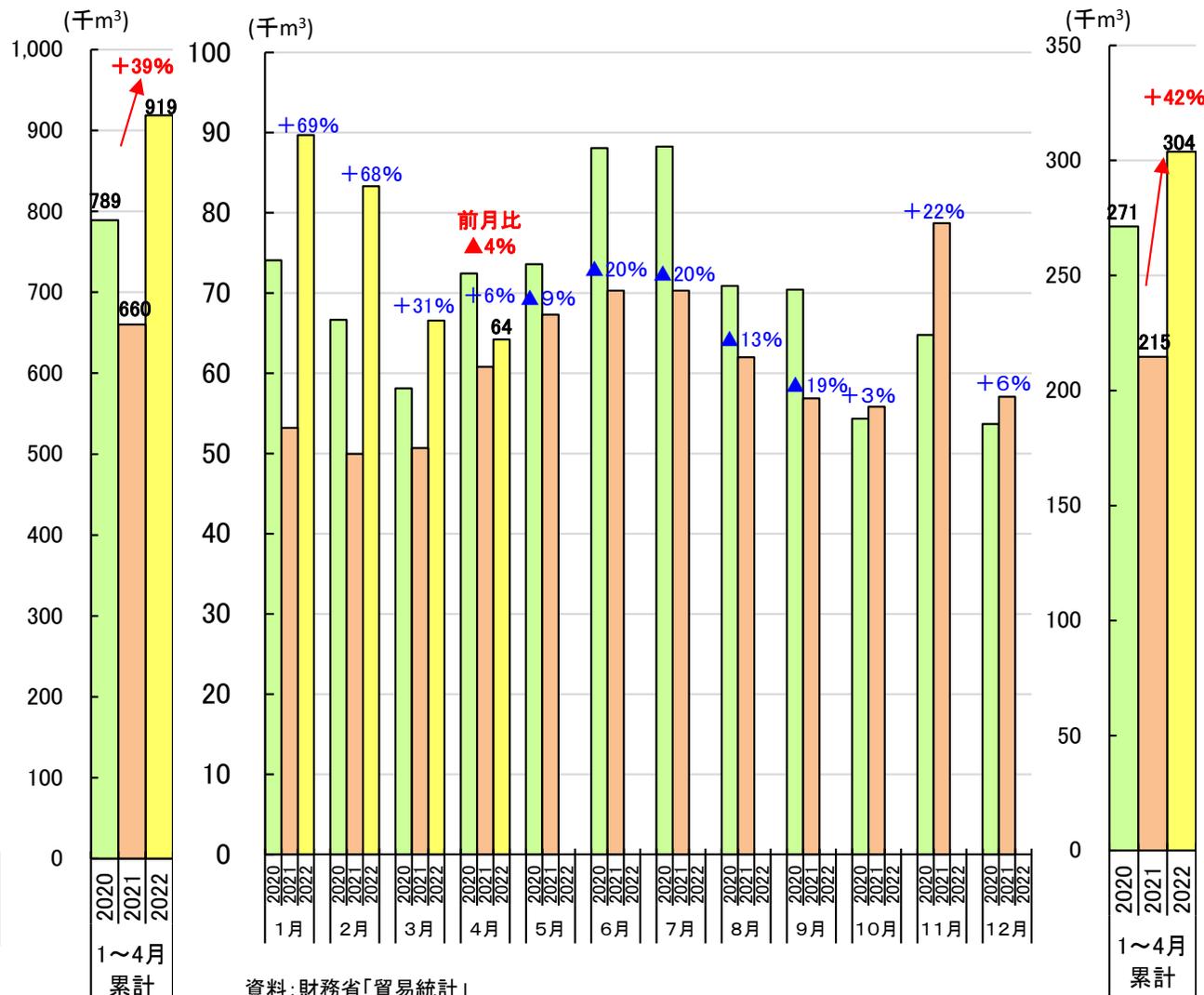
カナダからの製材輸入量

# 5. 欧州からの月別輸入量

- 2022年4月のEUからの製材輸入量は、前月比▲6%減の20万m<sup>3</sup>(前年同月比+22%増、2020年同月比▲8%減)。1～4月の累計は、前年同期比+39%増(2020年同期比+16%増)の92万m<sup>3</sup>。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比▲4%減の6万m<sup>3</sup>(前年同月比+6%増、2020年同月比▲11%減)。1～4月の累計は、前年同期比+42%増(2020年同期比+12%増)の30万m<sup>3</sup>。



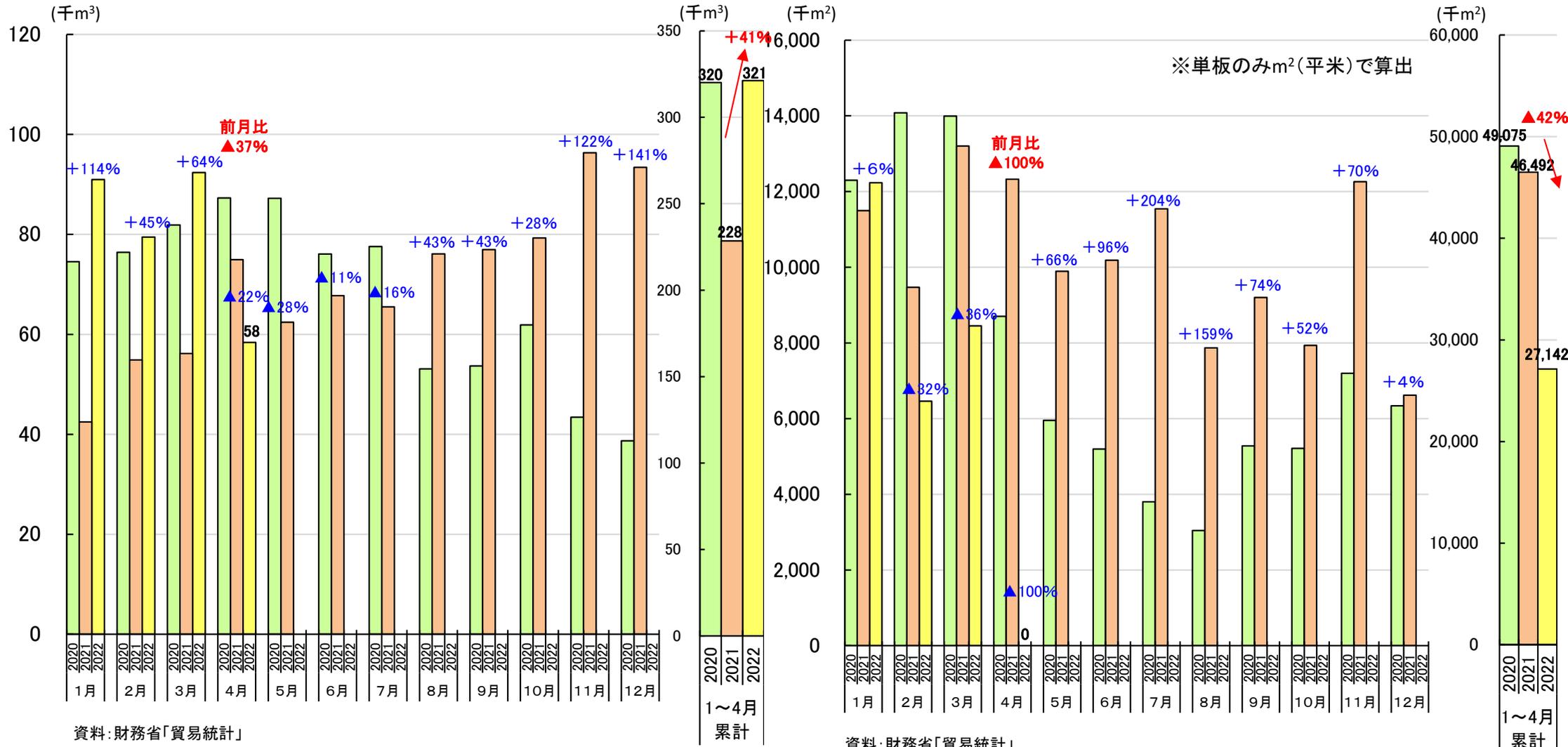
EUからの製材輸入量



EUからの集成材輸入量

## 6. ロシアからの月別輸入量

- 2022年4月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲37%減の6万m<sup>3</sup>(前年同月比▲22%減、2020年同月比▲33%減)。1～4月の累計は、前年同期比+41%増(2020年同期比+0%増)の32万m<sup>3</sup>。
- 同月のロシアからの単板輸入量は、輸入実績なし(前年同月比▲100%減、2020年同月比▲100%減)。1～4月の累計は、前年同期比▲42%減(2020年同期比▲45%減)の2,714万m<sup>2</sup>。

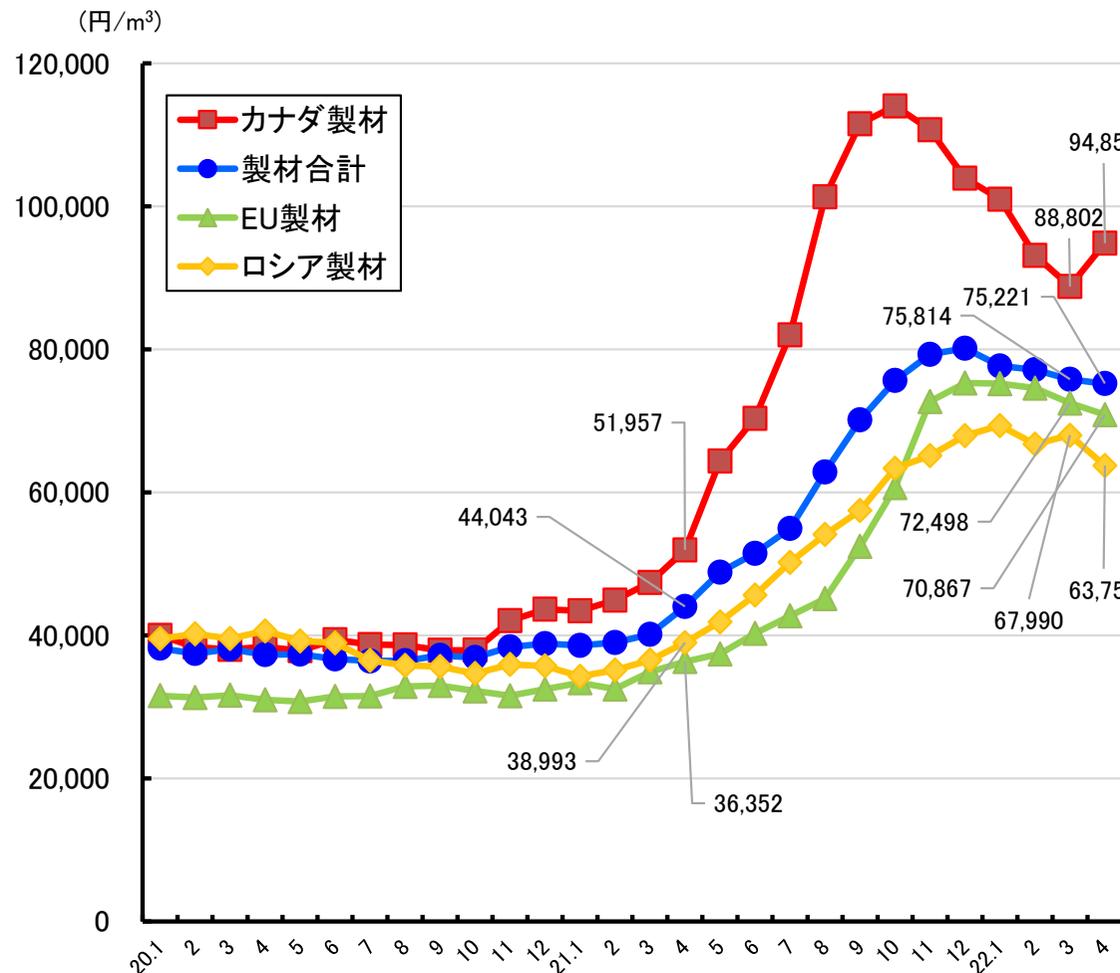


ロシアからの製材輸入量

ロシアからの単板輸入量

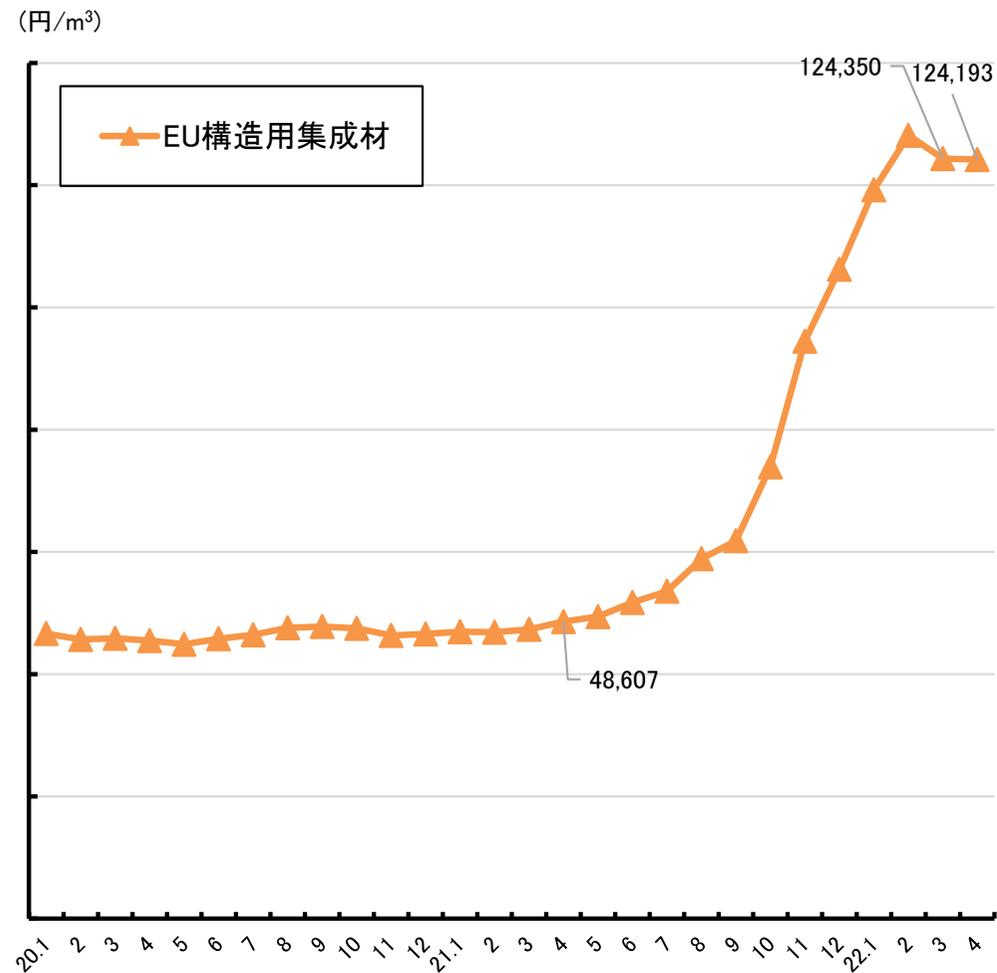
## 7. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2022年4月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲1%減の75,221円/m<sup>3</sup>（前年同月比+71%増）。うち、カナダの製材は、前月比+7%増の94,855円/m<sup>3</sup>（前年同月比+83%増）、EUの製材は、前月比▲2%減の70,867円/m<sup>3</sup>（前年同月比+95%増）、ロシアの製材は、前月比▲6%減の63,751円/m<sup>3</sup>（前年同月比+63%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲0%減の124,193円/m<sup>3</sup>（前年同月比+156%増）。



注: 輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価

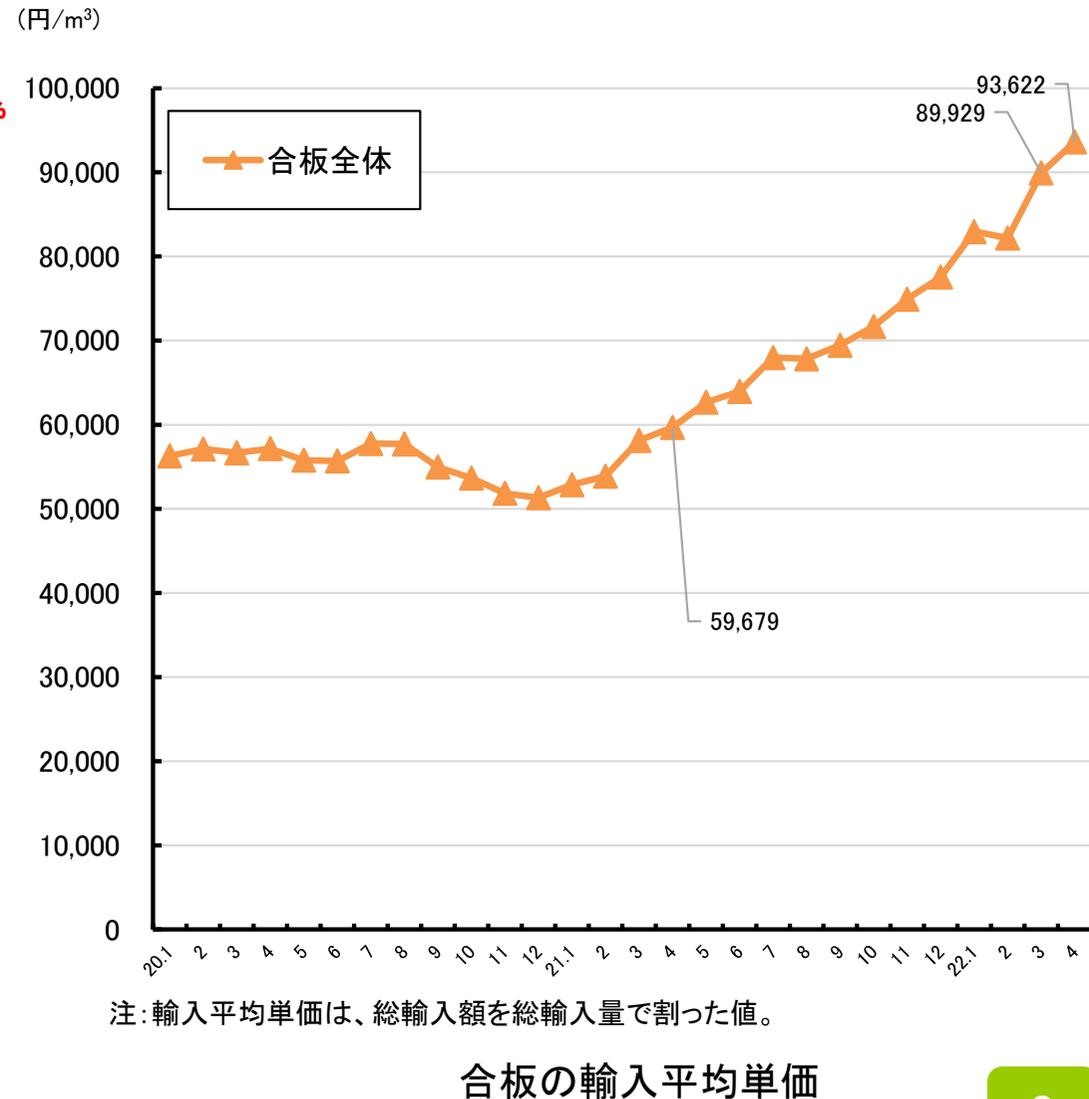
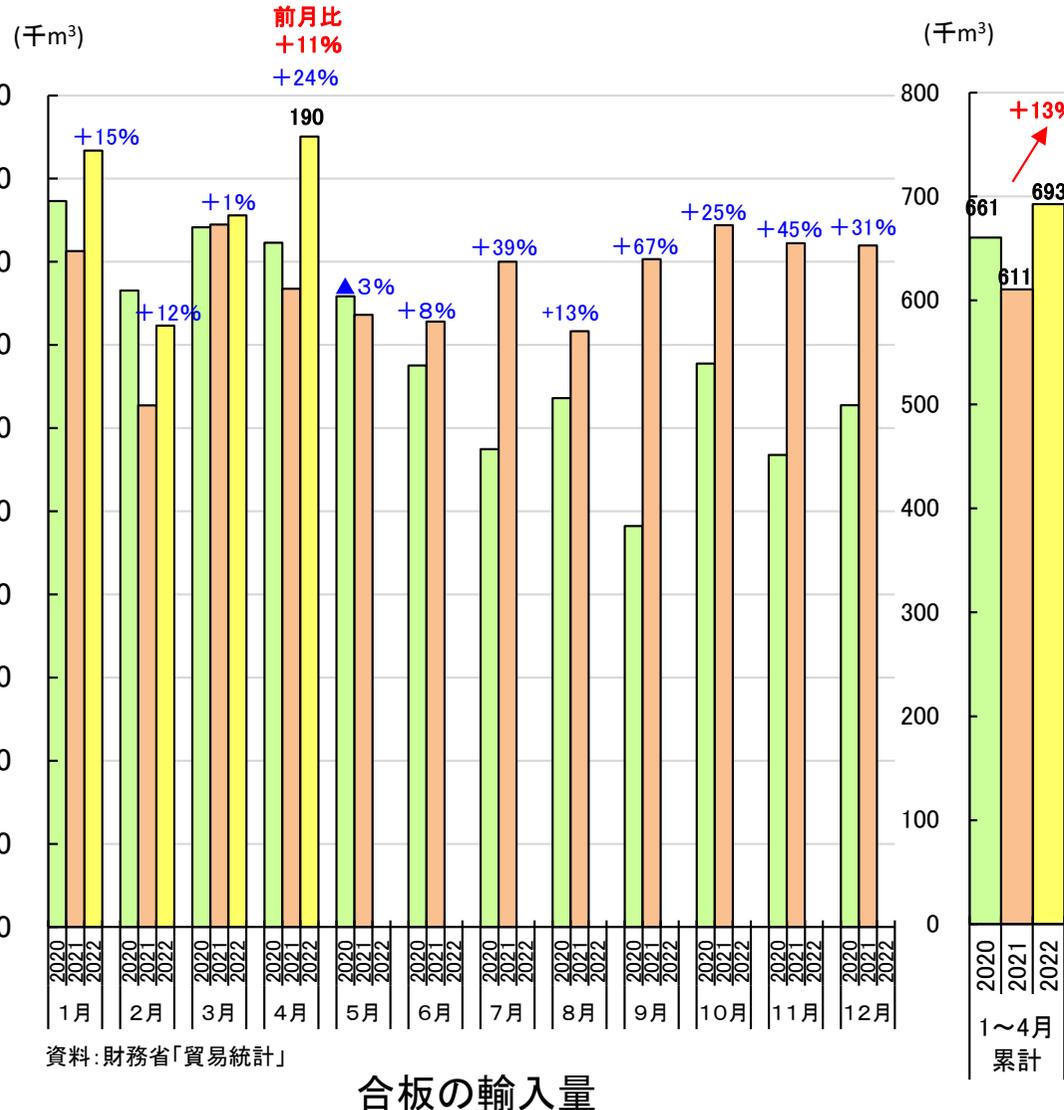


注: 輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

構造用集成材の輸入平均単価

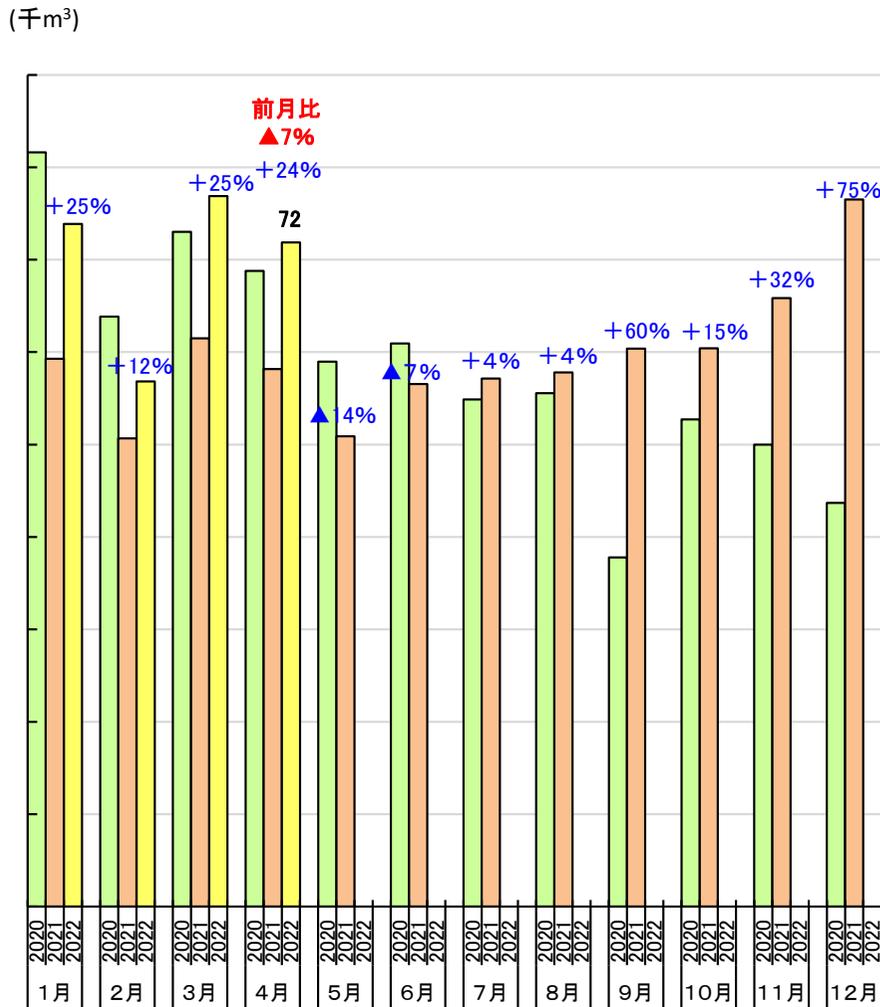
## 8. 合板の月別輸入量と価格

- 2022年4月の合板輸入量は、前月比+11%増の19万m<sup>3</sup>(前年同月比+24%増、2020年同月比+16%増)。1～4月の累計は、前年同期比+13%増(2020年同期比+5%増)の69万m<sup>3</sup>。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+4%増の93,622円/m<sup>3</sup>(前年同月比+57%増)。



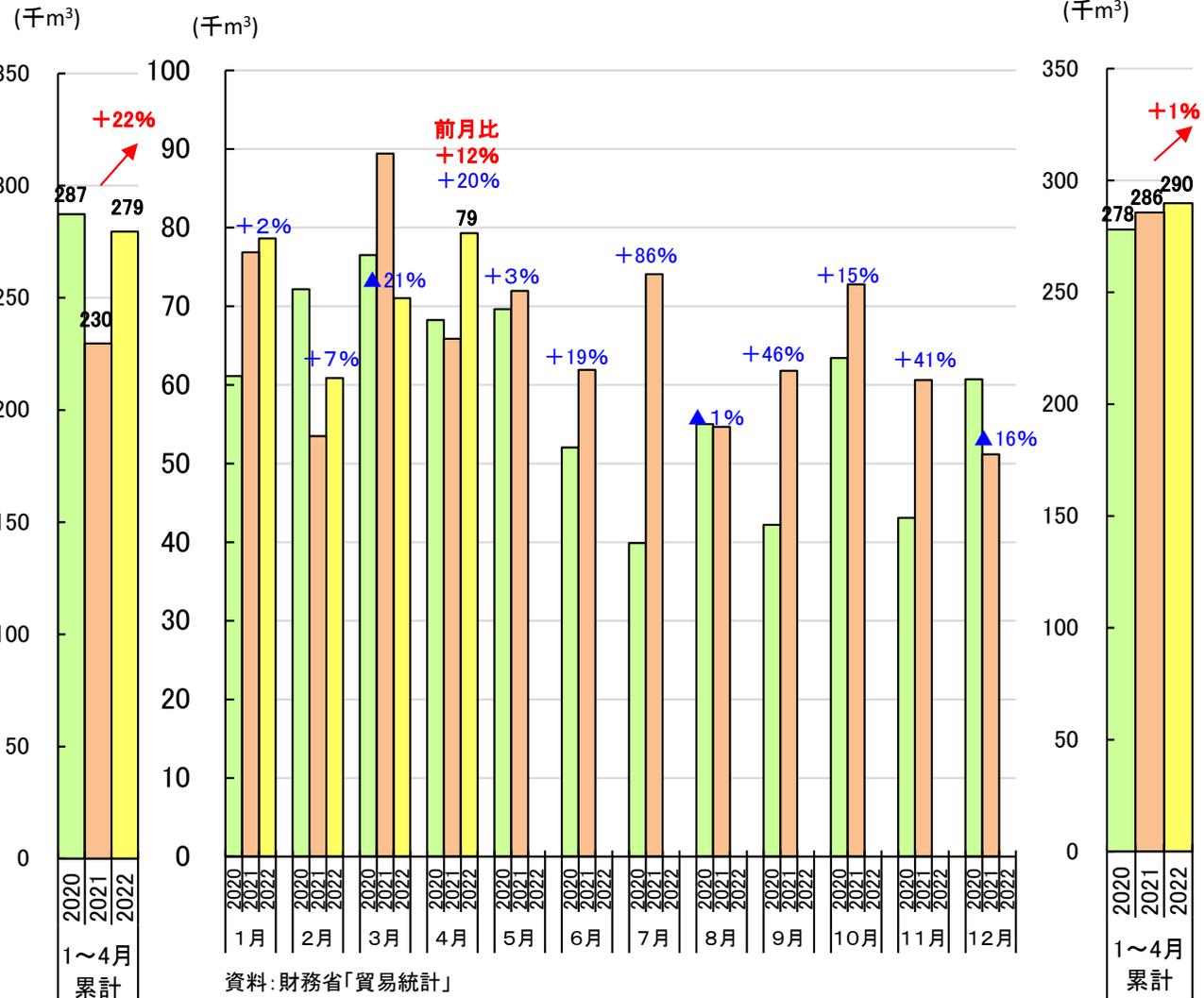
# 9. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2022年4月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比7%減の7万m<sup>3</sup>（前年同月比+24%増、2020年同月比+4%増）。1～4月の累計は、前年同期比+22%増（2020年同期比▲3%減）の28万m<sup>3</sup>。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比+12%増の8万m<sup>3</sup>（前年同月比+20%増、2020年同月比+16%増）。1～4月の累計は、前年同期比+1%増（2020年同期比+4%増）の29万m<sup>3</sup>。



資料:財務省「貿易統計」

インドネシアからの合板の輸入量

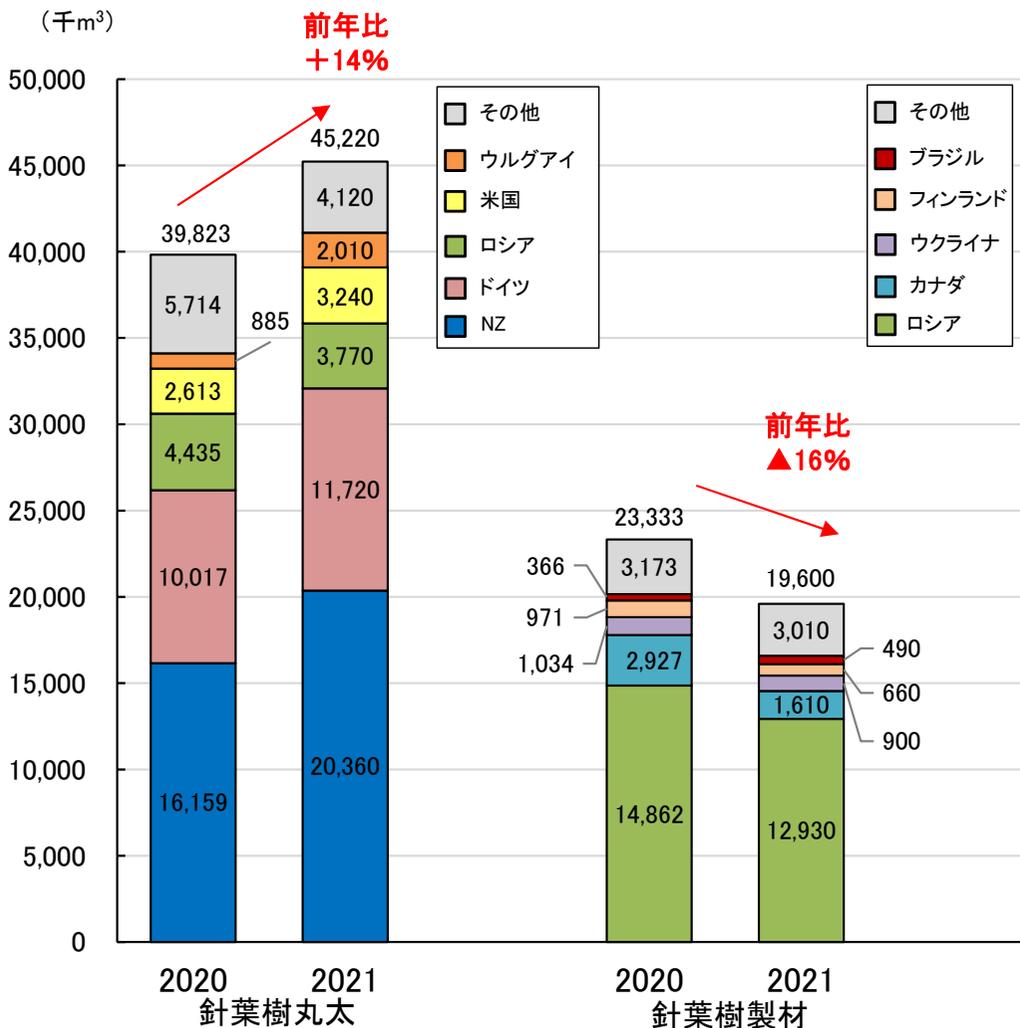


資料:財務省「貿易統計」

マレーシアからの合板の輸入量

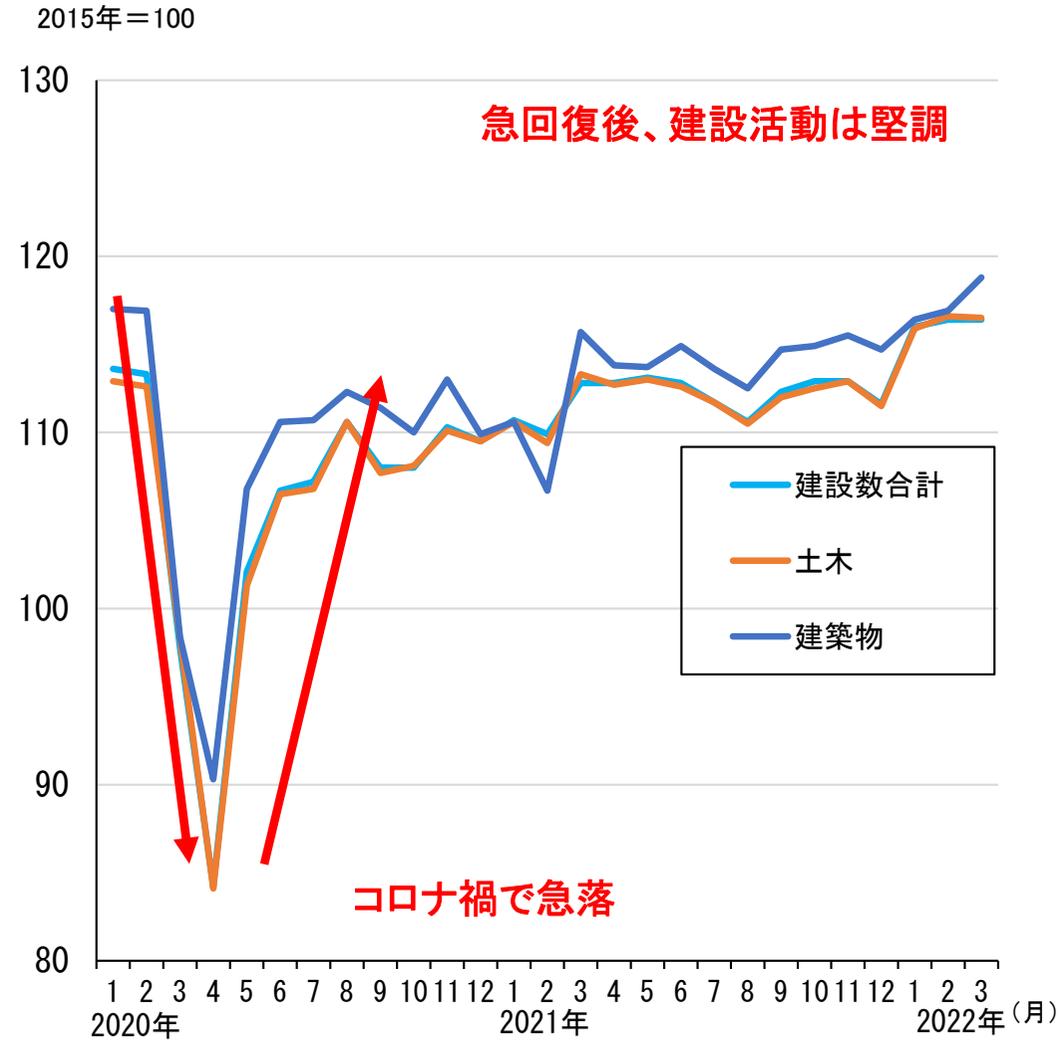
# (参考) 欧州・中国における木材需要の動向

- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+14%増の4,522万m<sup>3</sup>。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,960万m<sup>3</sup>。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))  
 ※R4.5 針葉樹丸太データを修正

中国の木材輸入量  
(2020年、2021年)



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

EUにおける建設活動水準 (2015年比)